



左から 倉澤秀幸さん(石畑) 榎澤克宏さん(石畑上) 船越拓真さん(箱根ヶ崎) 加藤慶之さん(箱根ヶ崎北)  
上野泰史さん(武蔵野) 庭田晃徳さん(長岡) 津田隼士さん(元狹山) ◆ピーボくん(マスコット)

特集

わが町の駐在さん



町議会

町内7カ所の駐在さんにお集まりいただき、お話を伺いました。

「いしも見守ってくれてありがとう……」

小学生が手渡してくれた手紙、これが私の宝物



Q 瑞穂町に初めて赴任した時、町の印象はどうでしたか？

―夏祭りや駅伝など、伝統行事が盛んな町で素晴らしいと思った。  
―お巡りさんに対し、とても協力的で優しい。今まで町内会とか無縁だったので、巡回訪問のとき、玄関に掲げられていた「組長」の看板にびっくり。  
―初めての町に身構えていたけれど、すんなり受け入れてもらえてうれしかった。  
―人と人とのつながりが強くて温かい。  
―20年前は、駅舎も古く、ローカルな町だなあと思った。

Q 瑞穂町に赴任してから苦労したことってありますか？

―大型の店舗ができたとき、軽犯罪が一気に増えて大変だった。  
―自分の子と同級の子どもを指導するとき、とても気を使った。  
―家の前の交差点で、仕事を終えた時間に事故が起きることが多くて、制服を着ないで対処しているとき住民の目が気になった。  
―赴任したばかりの朝の見守りのとき、子どもたちが、挨拶を返してくれなかった。心が折れそうな気持ちになったけれど、その後どんどん親しくなれてすごうれしかった。  
―家族も一緒に住んでいる駐在所なので、自分の代わりに家族が苦言を頂くことも

Q 瑞穂町で印象に残っている出来事は？

―住民からの通報で、連続放火犯を検挙できたこと。  
―警察署の逮捕術の大会で優勝したことを、町の体育祭で表彰してもらえたこと。今でも盾を飾っています。  
―赴任してなのに、地域のソフトボールの試合に声をかけてもらえたこと。  
―駐車場内の事故の多さにびっくりした。高齢の方の運転者が多いのかなあ。  
―年々体が大きくなっていくので、町民体育祭の参加種目が、リレーから綱引きに変わり、今では健康に気遣われるようになって……人の温かさをしみじみと。  
―初めは「駐在さん」だったのが「おーい○○さん」と名前で呼ばれるようになったこと。  
―朝の学童整理をしていると、小学生が駆けつけてきて手紙をくれた。「いつも見守ってくれてありがとう……」ものすごく感銘を受けた。私の宝物です。

Q お巡りさんになったきっかけは？

―家が道場をやっている、大学生の時、そこに通ってきたSPの方に勧められて。父親が警察官で、子どもの頃から自然になりたいと思った。  
―私も父が警察官で、その働く姿に大きく影響された。  
―小学生の時、弟が事故にあった。その時対応してくれたお巡りさんの姿が忘れられなかった。人の役に立ちたいと思った。  
―警察官の制服にあこがれて。  
―高校のとき、先輩が事故で亡くなった。こっぴどい事故や事件を無くしたいと思った。

Q 今後、瑞穂町にどのような町になってもらいたいですか？

―地域の皆さんで、伝統ある行事を継承し続けてもらいたい。  
―交通環境の充実が図られるといい。  
―人と人とのつながりが強い町だからこそ、声が町政に反映されていくし、防犯にもつながる。防犯のモデル地区として発展してほしい。  
―高齢者が運転しなくても安心して暮らせる環境を整ってほしい。  
―今の良さを引き継いでほしい。  
―もっと、若い人たちが、町のいろいろな場に参画してくれる町になってほしい。

Q お休みの日は何をしていますか？

―昼寝。  
―趣味の釣り。  
―奥さんと買い物。  
―子どもと動物園巡り。  
―家族サーブス。

Q 最後に、住民の皆様にお伝えしたいこと(防犯など注意して欲しいこと)はありますか？

―オレオレ詐欺に十分気をつけてほしい。  
―見慣れない人を見かけたら、じろじろ見ましよう。犯罪の抑止力になります。  
―家でも、自転車でも、鍵を掛けますよう。気にかかるとや悩み事があったら、すぐに相談してください。  
―子どもに関する犯罪が増えているので、大人の目で見守ってください。  
―駐在所の皆さん、ご協力ありがとうございました。